

自然毒食中毒原因調査支援データベースの検討

Study of Database Supporting for Investigation of Food Poisoning by Natural Toxins

来待幹夫

1. はじめに

近年、有毒魚介類及び有毒植物による自然毒食中毒が増加傾向にある。発生場所の多くが家庭であることから、原因食品の特定に加えて、県民に対する注意喚起は行政の重要な役割である。今回、自然毒食中毒における原因調査のサポート及び県民等に対する衛生教育資料としての活用を目的とし、画像データを利用したデータベースを試作したので報告する。

2. データベースのコンセプト

自然毒中毒調査では、「原因食品の現物がない」、「調理済みで現物を確認できない」、「残渣はあるが現物を推定できない」等原因食品の特定が困難な事例が多い。また、患者等の知識不足による「有毒部位の喫食」、「食用との誤認」等の事例が多い。原因調査では患者等の記憶が特定の重要な鍵となる。さらに、調査担当者の知識不足により原因が特定できない事例の発生などが懸念される。

そこで、以下のコンセプトでデータベースを検討した。

- (1) 保健所職員、医療従事者、研究者、県民等が利用できること
- (2) 画像データに基づく情報検索が可能であること
- (3) データベースを持ち歩くことができること
- (4) どこでも、だれでも利用できることを想定し、インターネット環境での利用などを考慮

3. データベースの内容と機能

- (1) 自然毒食中毒に関する有毒部位、症状、毒成分、処置方法、試験法等の情報
- (2) 画像データ
- (3) 食中毒事例
- (4) 画像、名称、喫食部位、特徴検索等の検索機能

4. 現在のデータベース（試作版）の収載内容

- (1) 動物性自然毒関連
 - 1) 魚類
 - ①フグ……………38魚種
 - ②シガテラ毒魚……………23魚種

③ワックスを含む魚種……………3魚種

④パリトキシンを含む魚種……………2魚種

⑤魚卵毒を含む魚種

(ナガヅカ中毒)……………2魚種

⑥過剰なビタミンAを含む魚種

(イシナギ中毒)……………1魚種

2) 貝類等

①巻き貝

(テトラミン中毒)……………29魚種

②二枚貝

(麻痺性貝毒、下痢性貝毒)

……………22種 (カニ1種を含む)

3) 各魚毒の概要

4) 各魚毒成分の試験法

(2) 植物性自然毒関連

1) キノコ……………60種類以上

2) 毒成分を含む植物……………51種類以上

3) 毒成分の試験法

(3) 全国及び島根県における自然毒食中毒事例集及び発生状況の概要

5. データベースの概要 (図1)

データベースの概要は図1に示したとおりである。

6. 自然毒食中毒原因調査支援データベース (自然毒食中毒調査お助け隊) の紹介 (図2)

現在完成しているきのこに関するデータベースの詳細は図2のとおりである。今後、フグなど他の食材についても企画中である。

7. 効果

- (1) 画像により患者等が記憶を正確に想起できる。
- (2) 調査担当者や医療従事者の知識を補強できる。
- (3) 原因調査の時間短縮を図ることができる。
- (4) 県民に対して衛生知識の普及を図ることができる。

8. 課題

当該データベースは、食中毒等の原因物質調査の支

援や消費者への情報提供を目的していることから、正確なデータの作成が必要であり、県内外の研究者との協力体制の構築が必要不可欠である。

このため、現在島根県中山間地域研究センターや島根県立三瓶自然館サヒメル等に資料提供等の協力を得て作成を進めている。

9. 資料の活用方法

(1) HCSS 及びホームページへの掲載

現在、データベースをCD-ROM版として保健所等に配布しているが、今後 HCSS（地域保健情報システム）に掲載し保健所職員等が利用できるようにする。さらに将来的には当所ホームページに掲載し県民等も閲覧できるようにする。

(2) 衛生教室等の開催

中山間地域研究センター、三瓶自然館、水産技術センター等の動植物に関する研究機関と保健所等の健康危機管理部門とが連携し、このデータベースを活用した自然毒食中毒に関する衛生教室等を開催する。

10. まとめ

食生活の多様化、健康志向の増大、余暇時間の拡大、情報の氾濫等私達を取り巻く食環境は、めまぐるしく変化している。不十分な知識による動植物の採取や調理・喫食は、自らの身を危険にさらしてしまうことになる。場所を選ばず、正確な情報を提供することにより、自然毒食中毒の原因調査と発生防止に役立つためのデータベースを試作し、活用を図っている。

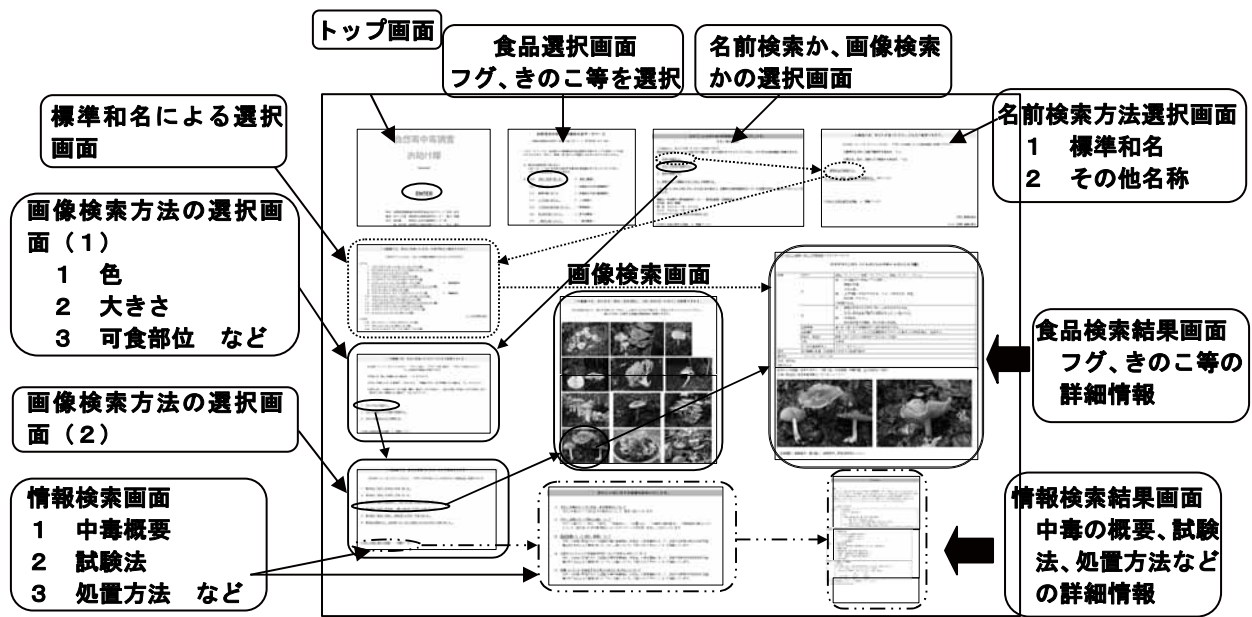


図1 データベースの概要

謝 辞

本発表を行うに当たり、データベースの監修、画像及び情報提供に協力いただいた島根県立三瓶自然館サヒメル、島根県中山間地域研究センター、(財)日本中毒情報センター及び関係機関に深謝いたします。

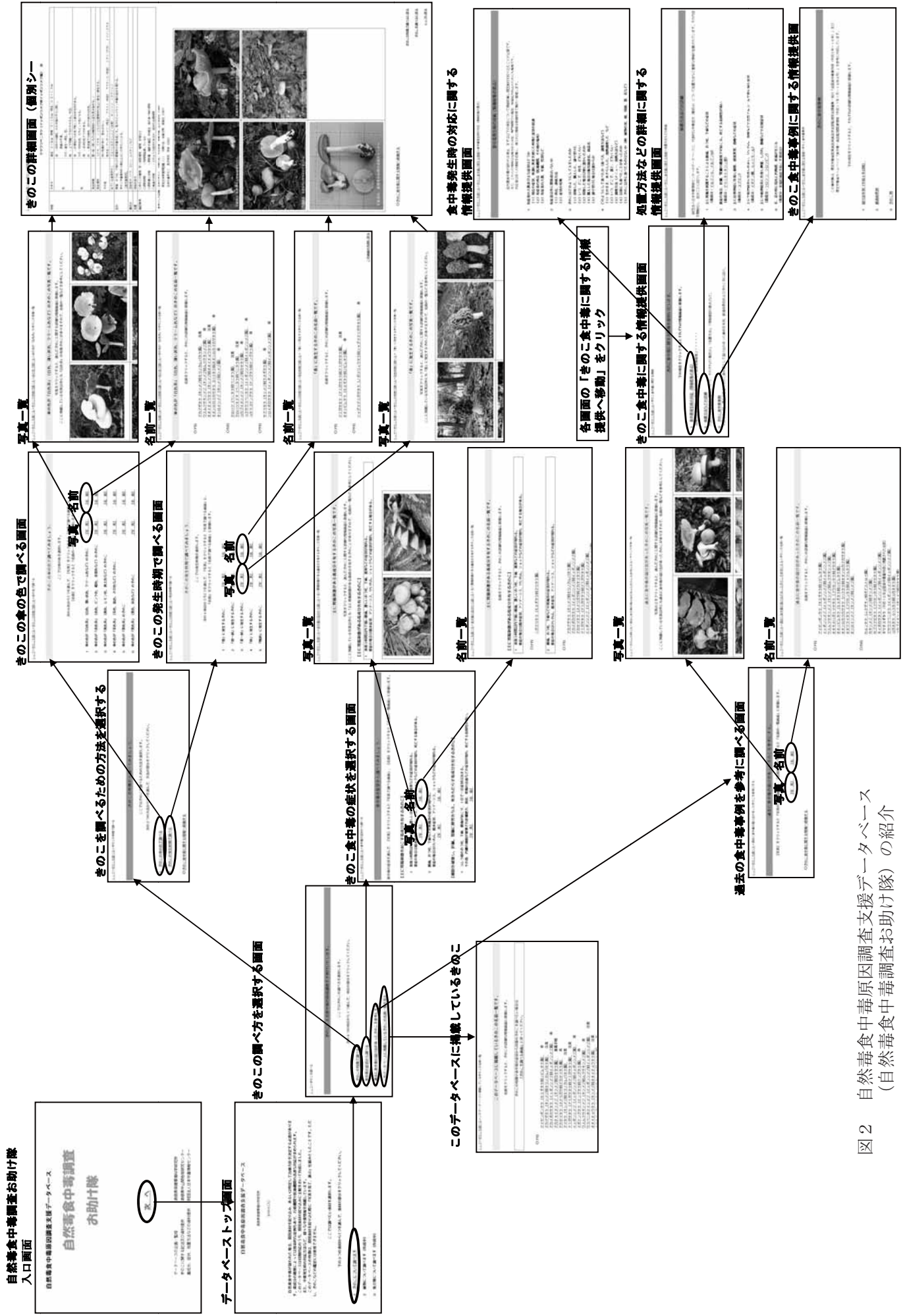


図2 自然毒食中毒原因調査支援データベース (自然毒食中毒調査お助け隊) の紹介